

東京理科大学創域理工学部機械航空宇宙工学科 教員公募要領（嘱託助教）

- 〔公募人員〕 助教（任期制）（2名）
〔任期〕 任期5年（2031年3月31日まで）
〔所属〕 東京理科大学創域理工学部機械航空宇宙工学科
〔勤務地〕 雇入れ直後：東京理科大学 野田キャンパス
変更の範囲：なし
〔業務内容〕 雇入れ直後：研究室の主宰教員と協働し、専攻分野についての学生の教授、その研究の指導、及び研究に当たる
但し、上記以外の業務を命ずることがある
変更の範囲：なし
〔専門分野〕 ・構造力学、破壊、計算力学、数値シミュレーション、数値計算手法
・圧縮性流体、航空宇宙機設計、宇宙機システム
・知能ロボティクス、生体医工学、知能情報学のいずれか
〔担当予定科目〕 ・機械航空宇宙工学実験1・2
・微分積分学および線形代数学演習1・2
・機械航空宇宙力学演習1・2
等の実験や演習科目
〔着任日〕 2026年4月1日
〔応募資格〕 ・大学、学部、学科の関連する諸業務に積極的に取り組めること。
・教育に熱意を持って取り組めること
・教育に熱意を持って取り組み、相応の研究成果が期待できること。
・博士の学位を有するか、着任までに取得見込みであること。
〔提出書類〕 (1) 履歴書（本学指定様式を使用すること）
<https://tus.box.com/s/416copxqsa8ev5tdkfhsn2lry3kddtws>
(2) 教育研究等について
・業績リスト（学術論文、著書、外部資金の獲得状況等）
※原則として、以下の記載方法に整えること。
（ア）作成年降順に記載すること。
（イ）連名・共著の場合は、記載順に全員の氏名を記載すること。
ただし、連名・共著者が多い場合は少なくとも第1著者名、他何名と記載し、自身が何番目の著者かわかるように記載すること。
（ウ）コレスポンディング・オーサー（責任著者）にアスタリスクをつけること。
（エ）自身の氏名にアンダーラインを引くこと。
・これまでの研究概要と採用後の研究計画(A4_1枚程度)
・これまでの教育活動の実績や今後の抱負(A4_1枚程度)
(3) 応募者について照会可能な方2名の氏名と連絡先等
（氏名、所属・職位、メールアドレス、電話番号、照会可能者との関係）
(4) 学位記の写し(学位取得証明書でも可)
(5) 主要論文等の写し
※照会可能な方の2名の推薦書をお願いする場合があります。この場合は別途ご連絡いたします
〔応募締切〕 2025年9月16日(火曜日)まで
〔書類提出先・問い合わせ先〕 提出先：以下の応募フォームからご提出ください。
応募フォーム：https://tus.qualtrics.com/jfe/form/SV_ePq3GIVhDkHyvjg
問い合わせ先：東京理科大学創域理工学部機械航空宇宙工学科主任 高橋昭如
[takahash\(at\)rs.tus.ac.jp](mailto:takahash(at)rs.tus.ac.jp)
【注】(at)は@に置き換えてください。
〔その他〕 ・本学及び学部・研究科等の求める教員像及び教員組織の編成方針を以下 URL からご確認ください。
https://www.tus.ac.jp/about/university/editorial_policy/
・東京理科大学では、女性人材を積極的に育成、活用し、活躍を支援する大学となることを目標としています。
女性の積極的な応募を期待します。
女性教員活躍支援のための方策（妊娠・出産なさった方、育児・介護等に取り組む方へ、仕事との両立を支援する各種制度等）について以下 URL よりご確認ください。
ダイバーシティ推進会議：<https://www.tus.ac.jp/tcw/>
・東京理科大学では、本学に採用されて間もない教員に対して、個々の研究環境の整備と、研究活動の活性化を図ることを目的とした「研究室スタートアップ経費支援制度」を実施しています。
・研究目的での海外の大学や研究機関への一定期間の滞在を支援する「在外研究員制度」を実施しています。
・東京理科大学キャンパス内は指定場所以外、禁煙となっております。
<https://www.tus.ac.jp/tuslife/campuslife/academy/nosmoking/>
・面接に伴う交通費等は、応募者の自己負担となります。